

園長あいさつ

50周年を終え、未来に



園長 小松 守

開園から半世紀、大森山動物園の50周年を無事に終えることができました。「ありがとう50年〜つながり、ともに未来へ〜」のテーマのもと、多くの市民、来園者とのつながりを確認しながら節目を祝うことができました。心より感謝申し上げます。

9月の記念式典を軸に様々な周年行事が行われました。来園者の思い出の写真でつくられたモザイクアートや花壇のモニュメント作品は入園ゲートの印象を大きく変えてくれました。また、50年目にスタッフが思索したさまざまなサービス活動は未来に向けた動物園の胎動を感じさせていました。大

森山の名物イベントである「まんまタイム」等に加え、動物の遊び道具づくりなど、参加・体験型でより楽しく動物を身近に感じ学べるイベントの試行、あるいは大森山の自然を活かした「大森山自然塾」の開催、さらには過去に実施した動物ウルトラクイズをリニューアルしての実現など、飼育員のアイデアで新企画が登場しました。

動物園の運営がますます厳しさを増す中、動物園はその存在意義を世に問いかけながら時代に合わせたサービスの模索が必要になってくるはず。こうした試みは、51年目からの大森山の大事な活動の一つとして成長させたいものです。



来園者制作のおもちゃで遊ぶムーン(50周年記念イベントで)

こんにちは! あかちゃん

2023年の1年間に大森山動物園で生まれた赤ちゃんをご紹介します。

ニホンイヌワシ

2023年3月26日と27日に、それぞれ孵化しました。無事に巣立ったのは5年ぶりです。西目(メス)と紫雲(オス)の間に生まれた卵ですが、安定して卵を抱くことができなかつたため、2つの卵をベテランペアのたつこ(メス)と信濃(オス)に預けました。

2つの卵が孵化した後、1羽のヒナを元の親に戻し、2羽とも順調に成長しました。



しずい 紫雲 楓音 3月26日撮影

トナカイ

2023年6月2日に5年ぶりに生まれました。2018年に大森山で生まれた春来がお父さんで、2020年に那須どうぶつ王国(栃木県)から来園したルミがお母さんです。ルミは初めてのお産で心配でしたが、生まれた直後に子どもは、しっかりおっぱいを飲み安心しました。雨の日に生まれたルミの子どもということで、「雨瑠」という名前になりました。



うる 雨瑠/メス 6月2日撮影

この他、フクロテナガザル、ワオキツネザル、フンボルトペンギン、ジャンボウサギ、プレーリードッグ、モルモット、インドクジャク、アカカンガルー等にも赤ちゃんが生まれています。

元気だね!

大森山を後にした動物たち

ヨーロッパフラミンゴ

2023年6月8日にヨーロッパフラミンゴのオス3羽とメス3羽が多摩動物公園(東京都)に旅立ちました。当初、2年前に移動する予定だったのですが、近年猛威を振るう高病原性鳥インフルエンザの影響により移動の延期が続きました。



すいか/メス

ノドジロオマキザル

2023年7月7日に市原ぞうの国(千葉県)に引っ越ししました。ノドジロオマキザルはちょいワルな顔つきですが、とても頭が良く、見ていて飽きない動物です。市原ぞうの国でも人気者になってほしいものです。



コーディ/オス 一平/オス

この他、シロフクロウのマーブルが市原ぞうの国へ、コモンマーモセットのそらまめがしるとり動物園(香川県)へ、ジャンボウサギのけいこが仙台市八木山動物公園へ移動しました。

よろしくね!

仲間入りした動物たち

アムールトラ

繁殖を目的に、2023年3月1日に九州自然動物公園(大分県)からやってきました。立派な体格にもかかわらず少し臆病なシュウは、外展示場になかなか出られませんでした。その奮闘の様子については8ページの飼育レポートをご覧ください。



シュウ/オス

シマフクロウ

ココラは釧路市動物園から2023年9月21日に、メスのアオハ(R青から改名)は旭川市旭山動物園から同年9月28日に来園しました。絶滅が危ぶまれているシマフクロウの域外保全として、本州では初の繁殖に取り組みます。詳しくは8ページの飼育レポートをご覧ください。



ココラ/オス

アオハ/メス

ラマ

2023年7月6日に市原ぞうの国(千葉県)から来園しました。おはぎはまだ幼く、モスは成長したラマです。おはぎはトレーニングを重ね、秋の動物ふれあいフェスティバルで動物パレードに参加しました。



モス/メスとおはぎ/メス

この他、ホンドフクロウやグリーンイグアナが仲間入りしました。

訃報 忘れないよ...

ライオン

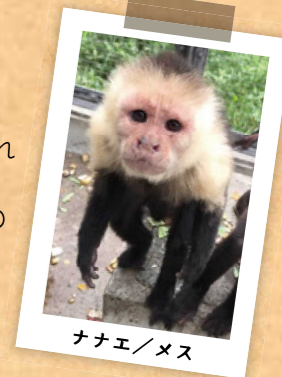
2023年10月28日に亡くなりました。1997年に多摩動物公園で生まれ、2007年に来園しました。来園後、オスのカズとの間に2頭の子どもをもうけ、カズが亡くなった後はオスのラガーと仲良く暮らしました。26歳という超高齢でしたが、晩年になっても天候が穏やかな日は外に出たがるなど、元気なおばあちゃんでした。



マンゴー/メス

ノドジロオマキザル

2023年1月6日に亡くなりました。ナナエは1990年に当園で生まれました。チャールズが1993年に来園したのち、夫婦になった2頭の間には10頭の子どもが生まれ、大所帯となりました。30歳を過ぎてもチャールズとの仲は良く、お互い毛繕いをするなど、かわいいおじいちゃん、おばあちゃんという感じでした。



ナナエ/メス

カナダヤマアラシ

もずくは2009年に当園で生まれました。おっとりした性格で、2足歩行したり、ムウムウと鳴いたり、とても愛嬌があり人気者でした。14歳と高齢だったこともあり、2023年12月18日に亡くなりました。



もずく/オス

この他、アカカンガルー、ツキノワグマ、プレーリードッグ、シバヤギ、ホンダタヌキ、マーコール、ミーアキャット、ニホンコウノトリ、グリーンイグアナ等が亡くなりました。

飼育動物数(12月末時点)

哺乳類	鳥類	爬虫類	両生類	魚類	無脊椎動物	合計
49種 331点	25種 120点	13種 26点	3種 5点	3種 17点	1種 23点	94種 522点